



3月2日、「2024年度賃金のベースアップ!明日への希望が持てる賃金実現!人の心と生きがいを取り戻し、未来(あす)の雇用を考え、真の笑顔と活気あふれるJR東日本グループをつくり上げる3.2大集会」が開催され、輸送サービス労組とバス関東労組、そして西武ユニオンの仲間と共に、すみだリバーサイドホールに552名の組合員が結集した。

この間、国内の物価上昇に歯止めが掛からず、さらに円安が家計の負担を圧迫している。実質賃金は21ヶ月連続低下しており現在、物価上昇に対する賃金引き上げが追いついていないの

は明らかである。JR東日本は第3四半期決算で上方修正を行っている。これらは現場で汗水流した私たちの成果であり、コロナ禍で悪化した経営を下支えした私たちに還元すべきである。賃金は労働力の再生産費であり、定期昇給は一年間の労働における経験やそれに基づく知識の向上、それを業務に転嫁していくための評価分、ベースアップは物価上昇分を考慮した生活維持・向上分である以上、私たちの要求に対しJR東日本は満額回答をすべきだ!



溝額回答を勝ち取るぞ!